

大阪北部地震。

詳細特報



被害を見つめて

今後に活かす、被災体験。

明日に向かって

生徒を守る、施設と行動。

徹底研究！ブロック塀のチェックポイント

防災協定締結は、地域と私たちの絆です。

多くの企業、団体が防災協定を締結、地域社会に貢献しています。

大阪広域生コンクリート協同組合は、防災協定の締結や、国が推進するレジリエンス（強靱化）アワードへの取り組みなどによって、地域の防災活動に貢献。ホームページでも紹介しています。

The screenshot shows the website's main page with a navigation menu and a featured article titled "地域に根ざした防災活動" (Disaster Relief Activities Rooted in the Community). The article includes a diagram illustrating the process: concrete trucks from a "拠点生コン工場 (ポンプ設置)" (Base Ready-Mix Concrete Plant with Pump) transport concrete to a "簡易水槽" (Simple Water Tank), which is then used for "消火活動" (Firefighting Activities) at a "災害地" (Disaster Area). Below the diagram is a section titled "防災活動イメージ図" (Disaster Relief Activity Image Diagram).

そして、防災協定とは別に、工場が独自に地元の自治体の防災活動に協力している例もあります。自治体から災害時避難場所の指定を受け、避難訓練に協力したり、また、自治体の備蓄品の保管場所を提供している工場もあります。

生コン工場は地域住民の理解と協力がなければ成り立ちません。私たちは、工場の広い敷地やミキサー車の運搬能力を活かし、地域社会へ貢献しています。

関連記事
・大阪府防災協定 国交省防災訓練
<http://www.osaka-kouiki.or.jp/news/single.php?page=29>

<「まちの、こどもの、あしたの、ために。」 コンクリート工学年次大会2018(神戸) >

This screenshot shows a page titled "「レジリエンスアワード」(強靱化)アワード「2018」 優秀受賞！" (Resilience Award (Resilience) Award "2018" Excellent Award!). It features a photograph of a framed certificate and a trophy. The text below the photo describes the award and the association's commitment to disaster relief.

大阪広域生コンクリート協同組合は、災害時に迅速に事業を復旧、回復させる備えや取り組みを日頃から積極的に実施。2018年3月20日、レジリエンスアワード2018年において、優秀賞を受賞しました。

大阪広域生コンクリート協同組合は、大阪府や東大阪市などと防災協定を締結。ミキサー車による消防用水の輸送や、貯水槽への充水などを通じて、地域の防災活動に貢献しています。

<https://www.osaka-kouiki.or.jp/news/single.php?page=129>



CONTENTS

- 004 **詳細特報** 大阪府北部震災。
 - 006 「緊急レポート」 今後に活かす、被災体験。
 - 012 「緊急レポート」 生徒を守る、施設と行動。
 - 016 徹底研究！ブロック塀のチェックポイント
 - 018 被害の大きかった地域の被災者支援窓口一覧
-

協賛団体

- 011 大阪兵庫生コンクリート工業組合
 - 011 一般社団法人西日本建設関連オーナー会
 - 011 和歌山県生コンクリート工業組合
 - 011 大阪府砂利石材協同組合
 - 011 神戸みなと建設協議会
 - 011 近畿生コン輸送協同組合
 - 011 大阪広域輸送協同組合
 - 011 関西圧送協同組合
 - 020 大阪広域生コンクリート協同組合
 - 025 和歌山県広域生コンクリート協同組合
-
- 027 YUI 掲示板



大阪府北部地震。

詳細特報

このたびの大阪府北部地震、およびその後の集中豪雨による被害に遭われた地域の皆様には、心よりお見舞い申し上げますと共に、一日も早い復旧を心よりお祈り申し上げます。



倒壊した公衆浴場の煙突＝2018年6月18日午後0時51分、大阪府枚方市、朝日新聞社ヘリから
(朝日新聞社/時事通信フォト)



地震で倒壊した寺の門＝18日、大阪府茨木市（時事/表紙七）



線路を歩いてJR新大阪駅に向かう乗客＝18日、大阪市淀川区（時事/表紙七）

大阪では近年経験のない震度6弱

2018年6月18日・午前7時58分頃、大阪府北部を震源とするマグニチュード6.1・最大震度6弱の地震が発生した。

被害が特に大きかったのは、震源に近い大阪府高槻市、枚方市、茨木市、箕面市、大阪市北区で、これまで大きな地震をほとんど経験することがなかった大阪では、最大震度6弱という揺れを受け、大きなビルや建物の倒壊こそ免れたが、死者4名、重軽傷者434名、住家の全壊・半壊・一部破損被害27192棟（表1）など、被害と混乱の数日を過ごした。被害を具体的に見ていこう。

■表1.人的・建物被害状況

都道府県名	人的被害(人)		住家被害(棟)		
	死者	負傷者 重傷 軽傷	全壊	半壊	一部破損
三重県		1	1		
滋賀県			3		
京都府		1	21		2,434
大阪府	4	9	351	9	87
兵庫県		4	38		4
奈良県			4		27
徳島県			1		
合計	4	15	419	9	87

※「大阪府北部を震源とする地震による被害及び消防機関等の対応状況（第26報）」
平成30年7月5日（木）18時00分
消防庁災害対策本部資料より。

大阪北部地震。

詳細特報

建造物の被害

今回の地震では、躯体自体が倒壊するような被害は少なかったが、非常に残念な被害が、登校中の小学生の女児が、自らが通う学校のプールの外壁である、コンクリートブロック（以下、ブロック）塀の倒壊によって亡くなったことだ。

倒壊したのは、当初つくられた高さ1.9mの壁の上に上積みされた約1.6mのブロック壁で、結果的にはブロック自体の問題ではなく、高さ2.2m以内という、ブロック塀の高さ基準を超えて施工されていたこと、また高さ1.2m以上のブロック塀に設置が求められている、控壁等の対策もされていなかったことが原因だ。

今回のことで、ブロックに対してネガティブなイメージを持たれた一般の方が多いかもしれない。私達、業界人としては、ブロック等に対する正しい情報で誤解を解き、正しく使えば有効であることを訴えていきたい。

※ブロックについては16ページをご参照ください。



地震で倒壊し、下敷きとなった女児が死亡した市立寿栄小学校のプール外壁＝18日、大阪府高槻市（時事）

交通網の寸断

今回の地震では、大都市型ともいえる傾向が見られた。それは交通網の寸断による混乱だ。地震が早朝に発生したため、発生時、大阪府内を走る公共交通機関はほとんどストップ。鉄道網の発達した都市圏の通勤通学の足を直撃した。特に大阪駅周辺はJR在来線、阪急、阪神に加えて、大阪メトロ（地下鉄）の3路線が集まるターミナルのため、地震後は大混乱となった。

市内交通の大動脈である大阪メトロでは、路線とトンネルの点検に時間がかかったため、中央線で約7時間、御堂筋線では約13時間後に運転を再開。結局、退社時間には間に合わず、幹線道路では徒歩で帰宅する人々で溢れかえった。また鉄道がストップしているため、多くの人はバスやタクシーに足を求め、その結果、バス乗り場やタクシー乗り場は長蛇の列となった。

これまで想定していなかった事態で、懸念されている南海トラフ地震に向けて、今後の防災減災を考える上での大きな課題となった。



JR新大阪駅前には、タクシーを待つ人たちの長蛇の列が続いた＝2018年6月18日午後5時54分、JR新大阪駅（朝日新聞社/時事通信フォト）

ライフラインの麻痺

水道やガス、電気など、ライフラインの麻痺も、職住近接の大阪では大きな被害となった。

被害の大きかった地域では、地震発生直後に水道・ガス・電気が止まったため、食事が作れないだけでなく、入浴はおろか髪を洗うことすらできない。この梅雨の時期、女性にとっては特につらいだろう。

震災当時の被害報告によると、水道については北大阪7市町（茨木市、高槻市、島本町、箕面市、豊中市、枚方市）への送水が停止^{*1}。電力は大阪府下を中心に最大で17万軒の停電が発生^{*2}。茨木市・高槻市・摂津市・吹田市の一部、合計111951戸への都市ガスの供給が停止していた^{*3}。

*1（大阪広域水道企業団震災対策本部「地震による影響について（第四報）」2018年6月19日13:00現在） *2（関西電力プレスリリース「大阪府で発生した地震の影響について（第四報）10時10分現在」 *3大阪ガスプレスリリース「地震による都市ガス供給の復旧などについて（第四報）」



大阪府高槻市立安岡寺小学校では、給水車からの飲み水を求めて住民らが列をつくった＝19日午前9時32分、大阪府高槻市（朝日新聞社/時事通信フォト）

今後に活かす、被災体験。

大阪府北部地震発生から、2週間をむかえようとした7月2日、大阪広域生コンクリート協同組合加盟で北ブロック内にある新大阪生コンクリート株式会社社長の大峠勇氏、工場長代理の佐藤和幸氏のお2人に話をうかがいました。



新大阪生コンクリート株式会社
代表取締役社長 大峠 勇氏(左)
工場長代理 佐藤 和幸氏(右)

地震発生時の状況

壁がひび割れる瞬間を目撃 被害の軽重を分けた発生時間

まずはじめに、地震発生時の状況について、お2人にうかがいました。

「当日の被害状況としては7時58分発生という事で、出荷していたら変わっていたと思うんですが出荷の前だったので、地震発生でただちに従業員は建物から構内に避難、そして安全確認という流れにはなりましたね。実は私は、揺れたときはトイレに入っていたんですが、壁がひび割れる瞬間を見たのでビックリしました。社屋の裏手に工場がいくつかあって、そこを見て回りましたが、

皆は、安全が確認できるまでは外にいて無事でした。工場裏にあるコーヒー豆の焙煎工場の人からは、「普段は8時になったら工場の機械に火を入れていたのですが、発生がその2〜3分前だったというのが、結果的に良かったのでは」との話を聞きました。しかし、大事に至らなかったから良かったものの、避難についても、よくよく考えればプラントの窓ガラスが割れ落ちる危険もあったので、直ぐに外に飛び出る行動についての注意喚起と、建物には近づかない形での安全確保も必要だと感じました」と、佐藤氏。避難行動のあり方について、「自身でも感じる場所があったという。もしも窓ガラスが割れていたら、もっと大きな被害が発生していたかもしれない。また、わずか2〜3分の違いが、被害の軽重を分けたことは、地震と発生時間について、新たな課題を投げかけられたかたちだ。

それを受けた大峠氏は、「その焙煎工場の人の話では、うちのセメントサイロもかなり揺れていて、倒れてきたらとの不安もあったと聞いています。今回はたまたま窓ガラスも割れずに避難できましたが、従来プラントの中に安全な場所があるのだろうか？とも思います。今後は、屋内に居るか外(構内)に出た方が安全なのかも検証しなければいけませんね」。確かに、セメントサイロを持つ企業としては、倒壊等による被害について、またサイロ自体の強度など、いろいろと考えさせ

大阪北部地震。

詳細特報

られる部分が多かったのではないだろうか。業界としても、課題のひとつと言えるのではないだろうか。

工場・設備等への対応

プラントは配管の破裂や外壁の損傷、地下の軽油タンクは継続的に観察

続いて、工場や設備などに関して、どのような被害があったのかを佐藤氏にうかがった。

「当日は出荷が入っていたので、揺れ戻しがないかを警戒しながら、更に30分待った後に、プラントが稼働できるかどうかを、製造の全員で点検してまりました。」

その中で、プラントの上にあるエア配管が抜け、エア漏れの音が下まで響き、サイロ上部の水管管が破裂して水が噴き出していたり、プラント建屋の外壁の損傷がありました（すでに修理は終わっている）。そのほかには地下に軽油タンクがあるので、漏洩検査はすぐに行いましたが、（異常が）これは出る時は一ヶ月〜二ヶ月かかって出ることもあるの、継続的にみてもいかなければなりません。今後、傷んできるところへの影響はできると思うので、その後の出荷前の安全点検作業は欠かせませんね」。さすがに躯体が壊れるような大きな被害



地下の軽油タンクは継続的な観察が必要。

ではないにしても、点検によって数ヶ所の被害の発生が確認されたのだ。もし震度が6弱ではなく、6強や7になっていたら…と考えると恐ろしい。

当日の現場への対応

交通網の寸断は回避、被害が総じて甚大なものではなかったのが救い

工場や設備に次いで気になるのが、現場対応だ。もちろん当日も打設予定の現場が入っていたらう。

「当日は3現場ありました」と、すかさず佐藤氏。「大手ゼネコンは、確認が出来るまで作業を中止したところが多かったと聞いていましたが、ウチの場合は1時間後には確認ができました。ただし不安な点もあったので、現場の安全確保が済んでいた、グループ社の販売店が取引する現場に搬入することになりました。」

ウチは、山（北部や郊外）の現場が多かったの、（都心部に比べると）道路事情も何とかなったのかなと思います。現場の確認はとれたものの、余震やさまざまな心配事から、まずは緊急時に互いが対応し合える身内の現場から対応していたのだ。マスコミでも余震の心配が報道されるなか、何が起るかもしれない状況下では、賢明な判断と言えるのではないだろうか。

大時氏も、「（施設の）細かな損傷はありましたが、直接出荷できないほど大きな被害は無かったということ。大手ゼネコンでも建築の方はそうだと思います。土木はまだ点検もしやすいですから打設ができたんでしょね。道路事情は大阪市内も酷かったようですが、北ブロックでは高槻方面も幹線道路171号が混んでいて、近い距離で、本来20分で行ける現場が倍の時間を要したとのこ

とです。車でいろんなモノを運ぶので大変な事になっていましたね。近隣の工場は多少なりとも、どの社も被害はあったようですが、出荷できない状況ではなかったようでもウチも含めて、被害が総じて甚大なものではなかったのが救いです」と、比較的被害が軽かったこと、また大阪市内ではなく、郊外の現場が多かったことで、現場対応に穴をあけずに済んだと、胸をなでおろした。

特に今回の地震で特徴的であった、〈都市型〉の被害を最も象徴するのが交通網の寸断だ。物はあるけど運べない、行きたいところへ行けない、これが混乱をさらに拡大した。国や地方自治体の今後の対応を期待したい。私達の業界も、基本的には自分達ではどうすることもできない分野だが、ネットワークの連携や独自の工夫のできることから考えていきたいものだ。



プラントでは施設の倒壊や配管の破裂による漏水などが多数発生していた。

従業員への対応

**家族の安否がわからない社員には
相手の気持ちになつてすぐ帰宅許可**

災害時には、さまざまなことに対して、優先順位をつけることが迫られる。特に従業員と経営者、家族と仕事：などだ。そこで工場長代理というお立場上、従業員と直接接する機会の多い佐藤氏に、当日の、従業員に対する対応を聞いてみた。

「余震を警戒しつつも、約30分後には、従業員の家族の安否確認をしていきました。その中で、家族との連絡がとれず、安否が心配な従業員3名については、会社としてすぐ帰宅許可を出しました。その時、道路状況なども解らず、家族の安否を気遣う従業員に対して『仕事の都合もあるから』ちよつと待ってくれ」とは言えない状況ではありましたが、素早い対応だ。そのときは、どのような心境で決断をしたのだろうか。

「仮に自分の家が震源地に近くて、家族と連絡が取れないとなつたとして、会社から『まだ確認に行くな』と指示されたら、どう思うかですよ。だから僕は、『ちよつと待て』とは言えませんが、考えたことは、素晴らしい判断だ。またこの時、反省したことがあるとも言う。

「このとき、家族を含めて安否確認したところ、そのなかに『大丈夫ですよ!』と、軽い感じで答えていた従業員がいたんですが、後で聞くと、実は避難所にいたと聞き、大変だったみたいで、会社として再度確認をするような促しが必要だったと反省しています。なるほど、時間の経過とともに状況が変わったり、本当は大変なのに、気を使わせないように明るくふるまうなどが考えられ

る。安否確認の際は、より詳しく、また相手の性格などを考えつつ、より慎重に行う必要があるかもしれない。

そんな佐藤氏に対して、大峠氏は、「帰らなければわからないこともありますし、なかなか発生直後に、短時間で全体の安全や安否確認はできないです。あの時、そこまで確認するのは難しかったと思います。でも、基本的には本人や家族のことを考えると、帰してあげるべきです。安否確認のため3名を帰した工場長代理の判断は、間違っているとは思っています」と、ナイスフォロー。さらに「製造の従業員も、家の中がグチャグチャで子供も幼く奥さんも怖がっていたので、昼から帰宅を命じ、翌日も片づけに集中できるように、会社としては特別休暇を出すなどの災害時の対処を行いました。不安な気持ちで仕事もできないでしょうし」お2人の判断に間違いはない。



「社員の気持ちになったら、安否確認のために家へ帰るな」とは言えませんが」と語る佐藤氏。

今後の災害への対応

**今後、都市ガスが止まったら、
プロパンガスで地域に貢献したい**

今回の地震で大峠氏は、改めて災害について、いろいろと考えなければならぬことに気づかされたという。

「(大きな地震が)来る可能性が大きい訳で、全社的には対策と意思疎通はできてないといけません。今回の震災で、都市ガスが広範囲で止まりましたよね。でもウチはプロパンガスだったので問題ありませんでした。なので、今後は自治会などでもこうした対応について話していかなければならないと思います。震災で被害を受けられて、ガスも使えずコンビニでの食料もない、風呂にも入れないという状況の中、わが社であればプロパンガスでシャワーも使える。そういうことを活かして、企業として地域への社会貢献も考えていきたいと思っています。例えば、門のところに、シャワー使えますよ、水がですよ」といったような張り紙をするなど、あと水や食料などの備蓄問題を含めた内容は、自治会等を通して検討していきたいです。ほかにも、近隣に家屋倒壊などが起こって助けが必要となった場合は、安全確認をして何かできることをしていく。そのような話を従業員と共に、定期的にすすめる必要があります。つまり防災、減災とは、自社や自社の社員のことはもちろん、それだけではなく、地域社会と一緒に作っていくもの、という考え方だ。

さらに別の観点からも、対応の細やかさを考えるべきだと指摘する。

「今回の地震で思ったんですが、重要なことは、

大阪北部地震。

詳細特報



大峠氏は、「ウチはプロパンガスなので、今後は、シャワーなどが使えることを、地域の人にアピールしていきたい」と話す。

災害の発生が日中なのか、夜中なのか、朝なのか、いつ起こるのかによって対応が変わってくると思うんです。そのいくつかのパターンで作っていかないと、日中なら仕事で生コンを運んでいるかも知れないから、その時はどう対応すればいいのかなど、ほんとうに細かく、真剣に考えていかなければならない。業種としては、被害が長期に及んだ場合に、ミキサー車などを利用した水の供給を、もっと十分にできるように考えていかなければと思っています。こういうことは時間が経てば忘れてしまう問題なので、具体的にスケジュールを決めて、進めていかなければなりませんね」。通り一遍のマニユアル的な考え方に加えて、これからは時間軸という視点が新たに加わる。

今後、業界に求めるもの

電話に頼らない連絡手段の確保 業界内での連携・支援強化

最後に、今後この業界で、どのような対策が必要と思われるかについてうかがった。

「今回の地震では、大阪府内の交通網や電話がマヒして、市内の被災状況を広域協組にも報告しようとしたんですが、なかなか連絡がつかずかったですね。電話については、最初の15分〜20分くらいまでは使用できたんですが、それ以降は一切つながりませんでした。こういったところは、(業界として)別に何らかの連絡手段があった方が良くと思いますね」と、佐藤氏は語る。確かに連絡手段の確保は、重要となる要素のひとつだ。

また大峠氏は真剣な表情で、「今回のことがよい教訓になったと思います。大阪市内は交通網も寸断され、生コンを運べないところもあった。今後、交通網や通信のマヒで広域協組の業務や、参事の方が出勤できない状況での対応策や、また防災協定の各地域への拡充や、災害などで大きな被害にあった協組加盟社への支援などを考えるきっかけになったらいいなと思っています」。

これからの災害では、情報弱者が周りから取り残され、機能不全になり、二次災害に巻き込まれることが問題視されている。また、業界内での連携をとる意味でも、新たな連絡手段の確保は、今後、業界として取り組んでいかななくてはならない重要な問題のひとつと言えるかもしれない。

今回の地震では、甚大な被害が比較的少なかったが、ある意味で、被災による気づきを通じて、個人や組織の判断力や危機管理意識が試されたのではないだろうか。社内や社員への対応しかり、

地域社会や業界内ネットワークしかり、今後、予想されている南海トラフ地震に向けて、これらの教訓を活かしていかなければならない。被災のシヨックが冷めやらぬこの時期に、早く取材にご協力いただいた、新大阪生コンクリート(株)のお2人は、この教訓を、今後の防災・減災活動に活かしてくれるに違いない。



被災による気づきが、今後の防災・減災に活かされることに期待。

新大阪生コンクリート(株) 従業員の震災体験

住民と協力しあい、停止した
エレベーターから娘さんを救助

新大阪生コンクリート(株)に勤めるAさんは6月18日の朝、出勤後間もなく地震に遭遇。家族の安否確認で長男との連絡がとれないため、会社から車で10分ほどの自宅に帰宅した。Aさんの住居は11階建てで複数の棟が集まった造りのマンションで、築年数は古く棟と棟の間が20〜30cmと狭いため、今回の地震の大きな揺れで棟と棟とが接触しあって多大な被害を被ったという。現場は

コンクリートが砕け落ちたり、部屋の内部でも梁や柱に大きな亀裂が入り、さらに住民の不安をおったようだ。

帰宅したAさんは長男の安全を確認。その後、止まったエレベーターに人が閉じ込められているとの情報で住民とエレベーターをこじ開けるも誰も乗って居らず、ひとまず安全確保のため長男を学校に送り届け、奥さんたちを親戚の家に避難させた。その後マンションの別のエレベーター内に、Aさんの娘さんや同級生などが閉じ込められていることが発覚。エレベーター業者の到着も待てな

いたため、住民と協力し合って数時間後に救出。取材時にも、まだ恐怖が冷めやらぬ娘さんは、現在もエレベーターは使わず、マンションの階段を使用している。

また他の従業員の中にも、家族の精神面を気遣いつつ室内の家具や物が散乱し片付けに追われる人や、避難場所を数日を過ごす人たちもいたという。

甚大な被害こそなかったにしても、今回の地震で恐怖を感じた人は大勢いたに違いない。



従業員の方の集合住宅は、エレベーターが止まり人が閉じ込められるなど、大きな被害が発生していた。

大阪兵庫生コンクリート工業組合

164社

2025年国際博覧会(万博)を大阪・関西に



大阪兵庫生コンクリート工業組合

大阪兵庫生コンクリート工業組合は、2025日本万国博覧会誘致委員会のオフィシャルスポンサーです。

理事長 木村 貴洋

〒530-0001 大阪市北区梅田1-1-3 大阪駅前第3ビル4F5号
TEL 06-6344-5231 / FAX 06-6344-7705

一般社団法人西日本建設関連オーナー会

220社

会長 菅生 行男

〒541-0048 大阪市中央区瓦町2丁目4番7号 新瓦町ビル4階
TEL 06-6222-5102 / FAX 06-6222-5103

和歌山県生コンクリート工業組合

63社

理事長 丸山 克也

〒641-0036 和歌山県和歌山市西浜1660番地291
TEL 073-445-0377 / FAX 073-445-3524

大阪府砂利石材協同組合

16社

理事長 千石 高史

〒530-0003 大阪市北区堂島2丁目1番27号 桜橋千代田ビル5階
TEL 06-6344-5572 / FAX 06-6344-5574

神戸みなと建設協議会

28社

会長 山田 高広

〒654-0049 神戸市須磨区若宮町1丁目1番6号
TEL 078-731-1830 / FAX 078-732-2920

近畿生コン輸送協同組合

正会員32社 賛助会員27社

理事長 野村 淳一

〒553-0032 大阪市東淀川区淡路3丁目6番31号
TEL 06-6328-5900 / FAX 06-6328-6400

大阪広域輸送協同組合

ミキサー部会35社 パラセメント部会29社

理事長 浦野 正国

〒556-0001 大阪市浪速区下寺3丁目2番9号
TEL 06-4394-7220 / FAX 06-4394-7221

関西圧送協同組合

17社

理事長 清田 正春

〒652-0866 神戸市兵庫区遠矢浜町5-20 2F
TEL 078-686-0236 / FAX 078-686-0246

緊急レポート

生徒を守る、施設と行動。

大阪北部地震では、多くの方々が被害にあわれた一方で、震源地から多少離れていたたり、それだけではなく、普段からの訓練や教育、震災発生後の素早い判断と行動、建物の構造や使用素材などによって、大きな被害につながらなかったケースもある。具体的な事例をみていこう。



大阪府吹田市
関西大学第一中学校 教頭
蔭地 陽介 氏

地震発生直後は冷静な判断で
対応は状況にあわせて臨機応変に

地震発生から9日目にあたる6月28日、関西大学第一中学校（大阪府吹田市）教頭の、蔭地陽介氏にお話をうかがった。

同校は名門関西大学の併設校だ。中学校・高等学校あわせて約1900名の生徒が勉強や学校生活を謳歌している。今回の地震で同校は、全くと言っていいほど被害がなかったという。それは単に震源から少し離れているからでも、偶然や運だけでもなかった。

大阪府吹田市山手町にある同校の門をくぐって、まず不思議に思ったのが、その静寂性だ。地震の後の混乱や倒壊などの痕跡がまったく見えな

い。はじめに当日の動きについて、蔭地氏にうかがった。

「地震発生時、私は学校におりました。5〜10秒程だったと思いますが、その瞬間は私も机をつかんでいました。揺れがおさまった後は、既に登校している生徒をどう避難させるかということを中心に考えました。そこでまず生徒を机の下に入るように指示し、その間に教員が廊下や階段の安全を確認して、その後、全員をグラウンドに避難させました」。地震の規模や被害の状況にあわせて、避難場所を臨機応変に変えることは、生徒の安全を守るうえで重要なことだ。先生方の冷静な対応で登校している生徒達は、落下物等の心配のないグラウンドまで誘導された。



関西大学第一中学校の校舎や施設は、関西大学第一高等学校と併設されている。

大阪北部地震。

詳細特報

約20年前に建てた体育館は、過去の教訓を生かした堅牢な構造

蔭地氏に案内していただき、校内の施設を見せていただいた。まずは生徒が一時避難したグラウンドだ。広いグラウンドには、人工芝が敷き詰められているため、そこに居るだけでほっとする。グラウンドの一方には3年生の入る校舎が建っている学校生活、ここでは、避難位置にも工夫が見られた。

「万が一、余震で校舎が崩れたりすると危険なので、生徒たちは校舎と反対側に集めました」と蔭地氏。確かにちよつとした工夫だ。しかし先生方の機転が生徒の安全を確保した。

その後、生徒達は、体育館に誘導された。「午前9時30分頃までグラウンドに避難していましたが、雨の心配があったので、次に体育館に移動しました」。この対応も、生徒の気持ちに配慮したものと言える。地震の後、不安な気持ちで過ごし、過呼吸やPTSDなどの症状の出た生徒もいるなか、たかが雨と言えど、さらに不安な気持ちになりかねないからだ。そこで体育館を見せていただいた。約20年前に建てられたという体育館は鉄骨造2階建てのしっかりした建物だ。まずは2階へ案内された。

よほど良い素材を使っつきちんと作られているのか、外壁のコンクリートにはまったくヒビが入っていない。約20年前に建てられたというから、阪神大震災の教訓を生かして、しっかりとつくられているに違いない。

「ここへ高校生を、そして1階に中学生を避難させました」と、案内された体育館2階の内部構造を見て驚いた。金属製の大きなトラスがむき出しになっている。これだけしっかりした鉄骨が使

われている体育館は珍しい。見ていだけで安心感につつまれる。冷暖房も完備しているので、グラウンドよりも快適に過ごせる。

続いて1階。ここは武道や卓球、トレーニング等に使われており、トイレやシャワーも完備されている。しかしそれよりもこのフロアの素晴らしさは、多くの鉄骨入りコンクリート柱に支えられていることだ。非常に安心感がある。

同校では約50年前に建てられた村野藤吾設計による扇形校舎も全く被害が無かった。今回のような災害に直面した時、人は正しくつくられた構造物の素晴らしさに気づく。



約20年前に建てられた体育館〈秀麗館〉は、高品質なコンクリート素材と、技術の粋を集めた打設技術で建てられた。



体育館の1階スペースは、鉄骨造のどっしりしたコンクリート柱、複数で支えられているため、安心感に包まれる。



2階スペースは、ガッチリ組まれた金属製のトラス構造が組まれており、支えられているため、まったく不安は感じられない(右下は拡大)。

**安否確認のため急遽スマホ使用を許可
父兄のお迎えと下校時間を一元管理**

今回の災害で最も時間を要したのが、登校して
いない生徒の安否確認だ。地震の発生が通学時間
帯だったため、電車の中に閉じ込められた生徒も
いた。しかもスマホの携帯は禁止されているため、
家にも学校にも連絡ができないからだ。「たまた
ま電車に乗っていた教員が、同じ車両でウチの生
徒達を見つけて、その教員からの連絡で確認がと
れたケースもありましたが、なかには下新庄の駅
で7時間近く待っていた生徒達もいたんです。や
はり中学生ぐらいの年齢では、今回のように通学
時に災害に遭遇したとき、学校へ行くのか家へ帰
るか、という判断をするのは難しいと思います」
そう判断した学校側では、なんと、本来は禁止に
していたスマホの携帯を同校では急遽、許可する
ことにした。「18日（月）の地震を受けて、すぐ
に父兄の皆さんにプリントを渡して、22日（金）
にはスマホ等の学校への持ち込みを許可しまし
た」。素早い対応だ。もちろん電源を入れるのは
緊急時のみという約束付きはあるが、これで学校
側も父兄としても安心することができる。

安否確認の他に学校が重視したのが、避難中の
生徒全員を無事にご父兄に引き渡すことだ。そこ
で学校側は、名簿を使って生徒の動きを管理した。
「実は以前から、防災マニュアル作成委員会を
立ち上げていて、生徒の名簿を作成して、非常
時にはすぐに教員が使えるように管理していたん
です。そこで今回は、入口に近い校舎の前に中学
1・2・3年、高校1・2・3年と机を6脚並べ、
その名簿を使って、ご父兄が何時に迎えに来られ
て、何時に下校したかのチェックを、ここで一元
管理しました」。こんな時は、情報の混乱が新た

な災害を生みかねない。しかし同校では、生徒の
下校時間をここで一元管理していたため、混乱は一
切なかった。

また校内の順路を利用して、父兄の往路と復路を
分離。一方通行にして混乱を防ぐ工夫も行ってい
たのだ。

お仕事をされている父兄もおられるため、下校
は夜までかかったが、校内で夜を過ごす生徒はな
く、21時30分には生徒全員の下校が完了したとい
う。

とにかく蔭地氏の言葉の端々に感じるのが、行
き届いた危機管理だ。同校は、普段から授業の中
で防災教育を行い、四月には防災訓練も行ってい
た。

「生徒自身、阪神淡路大震災を経験したことが
ないし、どこかで『自分達は、大丈夫だろう』と
考えていると思います。でも意識することが重要
なので、折にふれて教えるようにしています」と、
普段からの防災教育の重要性を強調する。また震
源から少し離れていたこともあるが、校内のロッ
カーなどの倒壊がなかったのは、すべてのロッ
カーをL字金具などで壁に留め、横揺れに備えて
ロッカー同士もビスで留めていたという。普段か
らの備えが、功を奏したかたちだ。

**地震が学校に突き付けた課題は、
発生時間を想定したシミュレーション**

素早かつ確かな判断や普段の準備によって、大き
な被害が出なかった同校だが、蔭地氏は、今回の
地震から学んだことがあるという。

「発生時刻で対応が変わるといことです。今
回は通学時間帯でしたが、もし違う時間に発生す
れば、生徒を宿泊させなければならぬ場合もあ
るかもしれない。また近隣住民の方が避難して来

られたら…、そういうことを考えると、時間帯に
あわせた対策のシミュレーションがもっと必要だと
思います」。危機に対する、この意識の高さはさ
すがだ。

確かに、普段からの防災教育や防災訓練が重要
なことには違いないが、それだけでは画一的にな
りはしないだろうか。いろんな場面を想定したシ
ミュレーションをしておけば、より安心できるに
違いない。

被害を最小限に抑えることができた蔭地氏は、
あくまでも謙虚だ。「私達の学校には、正義を重
んじ、誠実を貫く」という教育方針があるんです
が、あの日の私たちが誠実を貫かなければならな
かったのは、子供たちを無事に家に帰すことでし
た。それができて良かったです」と、やさしく微
笑む。



この建物の前に机を並べてご父兄のお迎え時間と下校時間を管理した。

大阪北部地震。

詳細特報



取材を行った部屋のホワイトボードに掲示された、「津波の発生」の資料。ふだんの授業の中でも防災教育が行われていることがわかる。

最後に建築やコンクリート業界に求めることをうかがうと「壊れないに越したことはないのですが、それだけではなく、過ごしやすい、そこにいると心地よい、そんな空間で学べたら、子供たちも我々も、良い学校生活が送れると思います」。この先生方なら、子供たちを安心して任せられることができる。これからも、冷静な判断と危機管理を大切にしながら、生徒たちの学生生活を支えていってほしい。

鉄骨鉄筋と良質コンクリートで安心構造の「秀麗館」

「秀麗館」は、関西大学第一高等学校・関西大学第一中学校に、体育館と講堂の機能を兼ね備えた施設として、平成11年2月に竣工しました。

この施設は、圧縮に強いコンクリートと、引っ張り力に強い鉄筋を組み合わせた鉄筋コンクリート造、また剛性の高い（重量）鉄骨を使った鉄骨造を組み合わせることにより、柔軟かつ堅牢な、耐震性の高い構造を実現。さらに質の高いコンクリートを使うことで、これらの構造を、より信頼性の高い構造物に仕上げています。

今回の地震においても、信頼性の高い避難所として、生徒達を守りました。

■建築概要（一部抜粋）

名称	関西大学第一高等学校・関西大学第一中学校「秀麗館」
所在地	大阪府吹田市山手町3丁目3番24号
設計施工	株式会社 竹中工務店
工期	着工 平成10年4月17日 竣工 平成11年2月10日
構造	鉄骨造 鉄筋コンクリート造（鉄骨鉄筋コンクリート 鉄骨コンクリート造） 地上2階 地下2階
建築面積	2,637.05 m ²
延面積	4,416.03 m ²
床面積	2階 78.50 m ² 1階 1,980.56 m ² 地下1階 451.23 m ² 地下2階 1,905.74 m ² 合計 4,416.03 m ²
外装	外壁 磁器質タイル貼 コンクリート化粧打放し 空胴プレストレストコンクリートパネル
屋根	溶融亜鉛メッキ鋼板丸ハゼ折板
開口部	アルミサッシ アルマイトクリア塗装 スチールサッシ 合成樹脂調合ペイント塗装
内装	アリーナ 床/アサダフローリング 壁/米母及びシナ合板格子貼 天井/化粧ガラスウールボード
ホール・ロビー	床/天然リノリウム 壁/コンクリート化粧打放し 米母格子貼 天井/合成樹脂エマルジョンペイント塗装



ポイント 業界人として知っておきたい ブロック塀のチェックポイント。

ブロック塀の正しい知識を 悲惨な事故軽減の教訓に

このたびの大阪府北部地震では、コンクリートブロック塀（以下、ブロック塀）の倒壊によって若い命が失われるという、痛ましい事故が発生しました。

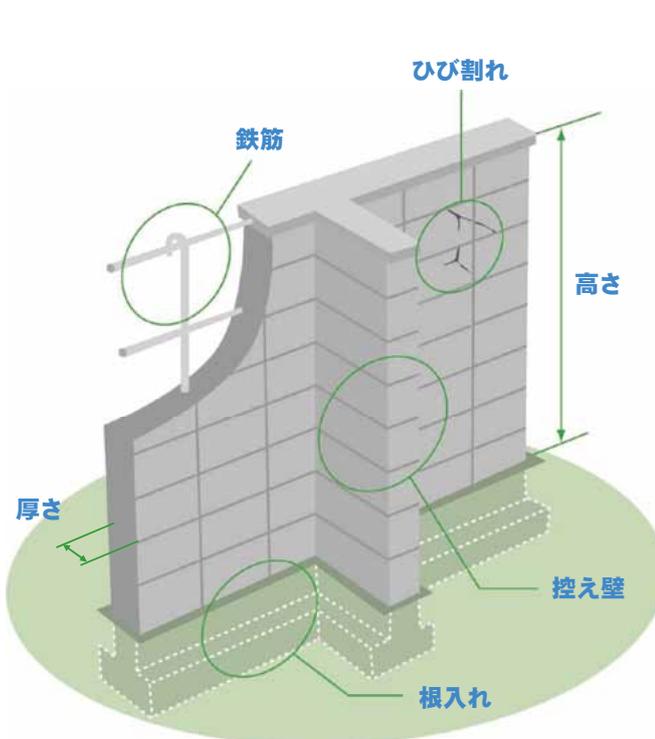
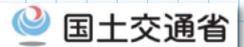
ブロック塀の倒壊は、阪神・淡路大震災の際にも多く発生し、ブロック塀の下敷きになったり、倒壊したブロック塀が道路をふさぎ避難や救助、消防活動を妨げたりすることから、当時から改善が進められていました。しかし時間の経過と共にその意識も風化し、今回の地震では、当時の教訓が生かされない結果となってしまいました。5つのチェックポイントのうち、該当する項目が1つでもあれば、専門家に相談するよう、促してください。

今回のような悲惨な被害の発生をなくすため、お客様や一般の人に、正しい情報を伝えることができるよう、業界人として知っておきたい情報として、〈ブロック塀の点検のチェックポイント〉等をまとめました。

別紙1・別紙2は、国土交通省ホームページに掲載されている〈建築物の既設の塀（ブロック塀や組積造の塀）の安全点検についてより抜粋しています。

ブロック塀の点検のチェックポイント

別紙1



ブロック塀について、以下の項目を点検し、ひとつでも不適合があれば危険なので改善しましょう。

まず外観で1～5をチェックし、ひとつでも不適合がある場合や分からないことがあれば、専門家に相談しましょう。

- 1. 塀は高すぎないか
 - ・塀の高さは地盤から2.2m以下か。
- 2. 塀の厚さは十分か
 - ・塀の厚さは10cm以上か。（塀の高さが2m超2.2m以下の場合には15cm以上）
- 3. 控え壁はあるか。（塀の高さが1.2m超の場合）
 - ・塀の長さ3.4m以下ごとに、塀の高さの1/5以上突出した控え壁があるか。
- 4. 基礎があるか
 - ・コンクリートの基礎があるか。
- 5. 塀は健全か
 - ・塀に傾き、ひび割れはないか。

<専門家に相談しましょう>

- 6. 塀に鉄筋が入っているか
 - ・塀の中に直径9mm以上の鉄筋が、縦横とも 80cm間隔以下で配筋されており、縦筋は壁頂部および基礎の横筋に、横筋は縦筋にそれぞれかぎ掛けされているか。
 - ・基礎の根入れ深さは30cm以上か。（塀の高さが1.2m超の場合）

組積造（れんが造、石造、鉄筋のないブロック造）の塀の場合

- 1. 塀の高さは地盤から1.2m以下か。
- 2. 塀の厚さは十分か。
- 3. 塀の長さ4m以下ごとに、塀の厚さの1.5倍以上突出した控え壁があるか。
- 4. 基礎があるか。
- 5. 塀に傾き、ひび割れはないか。
- 6. 基礎の根入れ深さは20cm以上か。

<専門家に相談しましょう>

出典：パンフレット「地震からわが家を守ろう」日本建築防災協会 2013. 1 より一部改

徹底研究!ブロック塀のチェック

(別紙2)

<第一段階：外観に基づく点検>

外観目視により、以下の事項に関し問題がないか確認する。高さ及び控え壁等の仕様・寸法については、組積造については建築基準法施行令第61条に、補強コンクリートブロック造の塀については令第62条の6及び令第62条の8に照らして適切か確認する。

- ① 高すぎないか。(組積造は1.2m以下、補強コンクリートブロック造は2.2m以下)
- ② 厚さは十分か。(組積造は壁頂までの距離の1/10以上、補強コンクリートブロック造は10cm<高さ2m超は15cm>以上)
- ③ 控え壁があるか。(組積造は4m以下ごとに壁の厚さの1.5倍以上突出した控え壁、補強コンクリートブロック造は3.4m以下ごとに塀の高さの1/5以上突出した控え壁を設ける)
- ④ 基礎があるか。
- ⑤ 老朽化し亀裂が生じたり、傾き、ぐらつきなどが生じたりしていないか。

<第二段階：ブロック内部の診断>

補強コンクリートブロック造の場合、外観点検で問題が発見された場合等に、補修方針を検討するため、ブロックを一部取り外して以下の事項を確認する。第二段階は建築士、専門工事業者等の専門家の協力を得て診断することが望ましい。

- ⑥ 鉄筋の接合方法、モルタルの充填状況は、令第62条の6に照らして適切か。
- ⑦ 鉄筋のピッチ及び定着状況は、令第62条の8に照らして適切か。
- ⑧ 基礎の根入れ深さは、令第61条又は令第62条の8に照らして適切か。

(注) 補強コンクリートブロック造の場合、構造計算により構造耐力上安全であることが特別に確かめられる場合は上記の仕様基準によらないことができる。

【問い合わせ先】

国土交通省 住宅局 建築指導課 松本・青木・中村

電話：03-5253-8111 (内線 39532、39536、39528)、03-5253-8514 (直通)

Fax：03-5253-1630

出典：http://www.mlit.go.jp/common/001239762.pdf より抜粋。

の被災者支援窓口一覧

■ 大阪市

- 大阪府北部を震源とする地震により半壊・半焼の被害を受けた住宅の応急修理について
 - ・ ホームページ <http://www.city.osaka.lg.jp/toshiseibi/page/0000439817.html>
 - ・ 受付及び問合せ窓口 都市整備局 被災住宅の応急修理申請 担当窓口 電話 /06-6208-7500 ファクス /06-6202-7066 (祝日を除く月曜～金曜 午前9時～午後5時30分) (申請にあたっては下記の担当窓口まで事前にご相談ください。)
- ブロック塀等の撤去を促進する補助制度について (申し込み7月下旬予定)
 - ・ ホームページ <http://www.city.osaka.lg.jp/toshiseibi/page/0000440127.html>
 - ・ 問い合わせ先 都市整備局 企画部 住宅政策課 電話：06-6208-9219 (受付：月曜日から金曜日 (祝日を除く) 9時から17時30分)

■ 吹田市

- 大阪府北部地震 吹田市の被災者支援制度一覧
 - ・ ホームページ http://www.city.suita.osaka.jp/_49005/oshirase/hisaishashien.html
 - ・ 問い合わせ先 (ホームページに各窓口の問い合わせ先が記載されています)

■ 茨木市

- 大阪府北部を震源とする地震義援金の緊急配分 (第一次配分) について
 - ・ ホームページ <http://www.city.ibaraki.osaka.jp/kikou/kenkof/fukushiseisakuka/menu/42153.html>
 - ・ 問い合わせ先 茨木市 健康福祉部 地域福祉課
 - ・ 電話：072-620-1634 ファックス：072-620-1720 E-mail chiikifukushi@city.ibaraki.lg.jp
- ブロック塀等撤去補助制度について
 - ・ ホームページ <http://www.city.ibaraki.osaka.jp/saigai/42249.html>
 - ・ 問い合わせ先 茨木市 建設部 建設管理課
 - ・ 電話：072-620-1650 E-mail kensetsukanri@city.ibaraki.lg.jp
- 6月18日に発生した大阪府北部を震源とする地震により社会福祉施設等に建物被害等が発生した場合の災害復旧について
 - ・ ホームページ <http://www.city.ibaraki.osaka.jp/saigai/42224.html>
 - ・ 問い合わせ先 大阪府福祉部障がい福祉室生活基盤推進課整備グループ
 - ・ (電話) 06 - 6944 - 2295 (ファックス) 06 - 6944 - 6674 (メール) seikatsukiban@sbox.pref.osaka.lg.jp
- 平成30年大阪北部を震源とする地震 茨木市被災者支援制度一覧
 - ・ ホームページ <http://www.city.ibaraki.osaka.jp/material/files/group/13/180713shienitiran.pdf>
 - ・ 復興支援総合案内 (コールセンター) TEL 072-655-2750 FAX 072-623-3025

■ 高槻市

- ブロック塀等の撤去を促進する補助制度について
 - ・ ホームページ <http://www.city.takatsuki.osaka.jp/m/kinkyusaigai/1531396456191.html>
 - ・ 問い合わせ先 高槻市 都市創造部 審査指導課 (高槻市役所 本館6階) 電話番号：072-674-7567
- 大阪府北部を震源とする地震にともなう国民年金保険料の免除について
 - ・ ホームページ <http://www.city.takatsuki.osaka.jp/jishinfusuigai/shien/1530069118595.html>
 - ・ 問い合わせ先 高槻市 市民生活部 市民課 6番窓口 国民年金チーム 電話番号：072-674-7073
- 地震による建築物等に対するブルーシートの配布について
 - ・ ホームページ <http://www.city.takatsuki.osaka.jp/jishinfusuigai/shien/1529290528155.html>
 - ・ 問い合わせ先 高槻市 総務部 危機管理室 電話番号：072-674-7314 FAX 番号：072-675-8184
- 被災住宅の応急修理について (住宅支援窓口)
 - ・ ホームページ <http://www.city.takatsuki.osaka.jp/jishinfusuigai/shien/1529978852459.html>
 - ・ 問い合わせ先 住宅支援窓口 電話：072-674-7794 FAX:072-674-3125
- 被災者支援一覧
 - ・ ホームページ <http://www.city.takatsuki.osaka.jp/ikkrwebBrowse/material/files/group/2/hisaishashien180713.pdf>

大阪北部地震。

詳細特報

被害の大きかった地域

■ 島本町

● 罹災証明

- ・ ホームページ http://www.shimamotocho.jp/gyousei/kakuka/soumubu_sintaisei/kikikanrisitu/bousai/saigaihigai/1395619885771.html
- ・ 問い合わせ先 総務部 危機管理室 電話 075-962-0380 ファックス 075-962-5156

■ 箕面市

● 災害または火災で被災されたときは

- ・ ホームページ <https://www.city.minoh.lg.jp/bousai/mimaikin/mimaikin2.html>
- ・ 問い合わせ先 総務部市民安全政策室 電話：072-724-6750 ファックス：072-724-637

● 地震に関する緊急情報

- ・ ホームページ <https://www.city.minoh.lg.jp/20180618.html>
- ・ 問い合わせ先 災害対策本部 電話 072-724-5000 聴覚障害者用のファックス 072-727-3539

■ 豊中市

● 被災された住まいに関する相談等について

- ・ ホームページ https://www.city.toyonaka.osaka.jp/kurashi/jutaku/sumai_topics/hisaisodan.html
- ・ 被災者向け住まいの相談専用ダイヤル 電話 06-6944-7907 相談時間 午前9時から午後5時30分まで（月曜日から金曜日まで）

■ 枚方市

● 耐震診断補助制度

- ・ ホームページ <https://www.city.hirakata.osaka.jp/0000002411.html>
- ・ 問い合わせ先 建築安全課窓口（電話番号なし）市役所 Tel 072-841-1221（代表） Fax:072-841-3039（代表）

● 大阪北部地震に関連する情報

- ・ ホームページ <http://www.city.hirakata.osaka.jp/0000019640.html>
- ・ 問い合わせ先（ホームページに各窓口の問い合わせ先が記載されています）

■ 摂津市

● 【重要】大阪北部地震の情報【まとめ】

- ・ ホームページ <http://www.city.settsu.osaka.jp/disaster/7679.html>
- ・ 問い合わせ先（ホームページに各窓口の問い合わせ先が記載されています）

■ 寝屋川市

● 大阪北部地震に関するお知らせ

- ・ ホームページ http://www.city.neyagawa.osaka.jp/organization_list/hito_fureai/kikikanri/1530083532033.html
- ・ 問い合わせ先 危機管理室 電話 :072-824-1181（代表）ファックス :072-825-0334

■ 交野市

● 大阪北部地震に関する各種お知らせについて

- ・ ホームページアドレス https://www.city.katano.osaka.jp/important_docs/2018062000010/
- ・ 問い合わせ先 秘書広報課 広報担当 TEL：072-892-0121



※情報は各市町のホームページより抜粋しています。

大阪広域生コンクリート協同組合

164社 189社

中央ブロック / 北ブロック / 東部ブロック / 西ブロック / 南ブロック / 阪南ブロック / 北摂ブロック / 神戸ブロック / 播磨ブロック / 淡路ブロック / 北神ブロック / 兵庫西部ブロック



私たちは、お届けする生コンの品質を保証するため、独自のブランドを立ち上げました。それが「コンクリード®」。

業界をリードするという自負のもと、ユーザーや社会の信頼に応えるべく、4つの理念

品質保証・安定供給・適正価格・社会貢献

に基づく良質な生コンクリートをお届けしています。

2025年国際博覧会(万博)を大阪・関西に



大阪広域生コンクリート協同組合

大阪広域生コンクリート協同組合は、2025日本万国博覧会誘致委員会のオフィシャルスポンサーです。

理事長 木村 貴洋

〒541-0048 大阪市中央区瓦町2丁目4番7号 新瓦町ビル5階

TEL 06-6222-5661 / FAX 06-6222-5662

中央ブロック

大阪アサノコンクリート (株) 津守工場	〒 557-0063	大阪市西成区南津守 2-1-90	TEL 06-6651-1601
(株) アップワン	〒 551-0021	大阪市大正区南恩加島 5-14-2	TEL 06-6555-3939
(株) 岡本建材	〒 554-0052	大阪市此花区常吉 2-5-51	TEL 06-6463-9692
(株) 岡本生コンクリート 本社工場	〒 554-0052	大阪市此花区常吉 2-2-27	TEL 06-6462-5803
(株) 岡本生コンクリート 港工場	〒 552-0013	大阪市港区福崎 1-3-41	TEL 06-6574-3061
(株) 関西宇部 北港工場	〒 552-0022	大阪市港区海岸通 4-2-23	TEL 06-4395-9300
(株) 関西宇部 港工場	〒 552-0022	大阪市港区海岸通 4-2-23	TEL 06-6575-1414
(有) さくら生コン	〒 559-0011	大阪市住之江区北加賀屋 3-1-5	TEL 06-6684-3939
(株) 千石 大阪工場	〒 554-0012	大阪市此花区西九条 2-14-27	TEL 06-6463-0300
(株) 千石 此花工場	〒 554-0012	大阪市此花区西九条 7-1-6	TEL 06-6463-0300
(株) 中央大阪生コン 本社工場	〒 557-0062	大阪市西成区津守 3-6-1	TEL 06-6656-0055
(株) 中央大阪生コン 木津川工場	〒 557-0062	大阪市西成区南津守 1-14-34	TEL 06-6656-0055
(株) 八光 なみはや工場	〒 551-0023	大阪市大正区鶴町 4-1-2	TEL 06-6552-8519
(株) 八光 鶴町工場	〒 551-0023	大阪市大正区鶴町 4-1-20	TEL 06-6556-3785
極東一生活コンクリート (株) 本社工場	〒 557-0062	大阪市西成区津守 1-14-12	TEL 06-6568-3900
五洋一生活コンクリート工業 (株) 本社工場	〒 557-0062	大阪市西成区津守 1-14-10	TEL 06-6568-5411
新関西菱光 (株) 大阪工場	〒 552-0013	大阪市港区福崎 1-2-8	TEL 06-6576-1131

中央ブロック			
新泉生コン(株)春日出工場	〒554-0012	大阪市此花区西九条 7-3-2	TEL 06-6462-8701
大黒生コンクリート(株)	〒554-0052	大阪市此花区常吉 2-2-25	TEL 06-6462-1000
築港生コンクリート(株)本社工場	〒552-0013	大阪市港区福崎 2-10-14	TEL 06-6571-5557
ツルガ生コンクリート工業(株)本社工場	〒554-0052	大阪市此花区常吉 2-2-27	TEL 06-6462-5803
阪神生コン建材工業(株)本社工場	〒557-0062	大阪市西成区津守 3-6-25	TEL 06-6659-0912
阪南産業(株)港工場	〒552-0022	大阪市港区海岸通 3-4-82	TEL 06-6599-0005
報栄生コン(株)本社工場	〒559-0025	大阪市住之江区平林南 2-10-50	TEL 06-6682-1053
北ブロック			
大阪アサノコンクリート(株)淀川工場	〒553-0014	大阪市淀川区豊新 2-14-9	TEL 06-6328-6992
永和商店 第一工場第二工場	〒553-0022	大阪市淀川区菅原 4-6-23	TEL 06-6329-9527
(株)江坂資材 摂津工場	〒567-0865	茨木市横江 2-8-13	TEL 072-636-0112
(株)関西宇部 吹田工場	〒533-0006	大阪市淀川区上新庄 1-2-14	TEL 06-6327-1000
(株)ワールド	〒567-0853	茨木市宮島 3-3-27	TEL 072-634-7177
北大阪菱光コンクリート工業(株)箕面工場	〒562-0026	箕面市外院 1-1-4	TEL 072-729-2041
新大阪生コンクリート(株)本社工場	〒567-0053	茨木市豊原町 7-6	TEL 072-643-6781
新三和生コン(株)本社工場	〒569-0023	高槻市松川町 11-7	TEL 072-675-5585
ダイワN通商(株)高槻工場	〒569-0831	高槻市唐崎北 2-23-11	TEL 072-677-1377
中央コンクリート(株)本社工場	〒553-0022	大阪市淀川区菅原 4-6-17	TEL 06-6329-2231
ナニワ生コン(株)本社工場	〒567-0057	茨木市豊川 3-7-10	TEL 072-643-0963
藤原生コン(株)本社工場	〒567-0027	茨木市西田中町 2-31	TEL 072-622-4988
(有)植田生コンクリート工業 本社工場	〒569-0831	高槻市唐崎北 2-1-2	TEL 072-677-6339
(有)西半生コン 本社工場	〒567-0072	茨木市郡 4-8-1	TEL 072-641-5935
(有)フレッシュコンクリート	〒556-0052	摂津市烏飼本町 2-8-29	TEL 072-653-3823
東部ブロック			
大阪大進生コンクリート(株)本社工場	〒577-0835	東大阪市柏田西 2-16-20	TEL 06-6728-8016
(株)稲田已建材	〒579-8001	東大阪市善根寺町 4-6-31	TEL 072-984-0227
(株)大阪こーさい	〒547-0003	大阪市平野区加美南 4-4-51	TEL 06-6795-5531
(株)オクノナマコン 第一・第二工場	〒576-0051	交野市倉治 6-44-1	TEL 072-891-1112
(株)オーシャン 平野工場	〒547-0048	大阪市平野区馬場 1-3-9	TEL 06-6793-8788
(株)光和	〒581-0845	八尾市上之島町北 6-15	TEL 072-928-2626
(株)五一	〒577-0848	東大阪市岸田堂西 2-2-14	TEL 06-6728-8686
(株)サン生コン	〒572-0075	寝屋川市葛原 1-31-11	TEL 072-815-0100
(株)三友生コン	〒572-0855	寝屋川市寝屋南 2-13-16	TEL 072-821-6019
(株)長谷川建材	〒571-0017	門真市四宮 1-2-28	TEL 072-881-5104
(株)八光 加美工場	〒547-0001	大阪市平野区加美北 5-10-10	TEL 06-6793-6458
加美コンクリート(株)本社工場	〒547-0003	大阪市平野区加美南 1-7-8	TEL 06-6792-2255
三和生コン(株)本社工場	〒581-0036	八尾市沼 4-72	TEL 072-948-1133
タイコー(株)枚方工場	〒573-0064	枚方市北中振 4-10-3	TEL 072-831-4421

東部ブロック			
寝屋川コンクリート (株) 本社工場	〒 572-0039	寝屋川市池田 2-11-62	TEL 072-829-6261
東大阪大進生コンクリート (株) 本社工場	〒 578-0982	東大阪市吉田本町 1-2-40	TEL 072-962-2525
堀之内建材 (株)	〒 573-0001	枚方市田口山 1-16-1	TEL 072-850-3900
守口菱光 (株)	〒 570-0043	守口市南寺方東通 6-14-10	TEL 06-6996-9001
(有) 大久保建材生コン 門真生コン	〒 571-0076	門真市大池町 16-18	TEL 072-886-0002
(有)大久保建材生コン 寝屋川枚方生コン 第一・第二工場	〒 572-0088	寝屋川市木屋元町 8-6	TEL 072-835-9999
西ブロック			
伊丹コンクリート工業 (株)	〒 664-0845	伊丹市東有岡 4-15	TEL 072-782-8076
稲葉生コンクリート (株)	〒 660-0085	尼崎市元浜町 1-75-1	TEL 06-6419-5511
今津生コン (株) 本社工場	〒 660-0832	尼崎市東初島町 3	TEL 06-6489-3801
海山コンクリート (株) 宝塚工場	〒 665-0825	宝塚市安倉西 1-206-1	TEL 0797-87-7581
海山コンクリート (株) 西宮工場	〒 669-1101	西宮市塩瀬町生瀬字赤子谷 1137	TEL 0797-85-1244
(株) 旭生コン 本社工場	〒 661-0953	尼崎市東園田町 7-51-1	TEL 06-6497-3333
(株) 天城建材センター 本社工場	〒 660-0845	尼崎市西高洲町 16-22	TEL 06-6419-7701
(株) 江坂資材 吹田工場	〒 564-0054	吹田市芳野町 2-21	TEL 06-6339-3663
(株) 大浜資材	〒 660-0095	尼崎市大浜町 1-18-2	TEL 06-6430-6672
(株) 北大阪生コン	〒 532-0001	大阪市淀川区十八条 3-12-14	TEL 06-6393-1357
(株) 北口商店 本社工場	〒 561-0856	豊中市穂積 2-6-7	TEL 06-6863-0935
(株) 協和東海岸コンクリート	〒 660-0843	尼崎市東海岸町 1-14	TEL 06-6409-6241
(株) 啓徳	〒 662-0934	西宮市西宮浜 1-1-1	TEL 0798-35-7500
(株) テシマ鍛冶生コン 川西工場	〒 666-0022	川西市下加茂 2-77-2	TEL 072-755-4469
(株) 博田商店	〒 662-0934	西宮市西宮浜 3-22	TEL 0798-22-7701
(株) 藤田建材店 大浜工場	〒 660-0095	尼崎市大浜町 1-19?4	TEL 06-6413-8118
(株) 丸正建材生コン	〒 562-0015	箕面市稲 3-9-6	TEL 072-723-1353
(株) 大和生コン	〒 662-0934	西宮市西宮浜 1-16	TEL 0798-26-4600
(株) ライフコンクリート工業	〒 664-0842	伊丹市森本 8-96-1	TEL 072-780-3300
新関西菱光 (株) 尼崎工場	〒 660-0842	尼崎市大高洲町 5	TEL 06-6409-1251
新淀生コンクリート (株) 本社工場	〒 555-0041	大阪市西淀川区中島 2-9-82	TEL 06-6471-4456
谷畑産業 (株)	〒 563-0035	池田市豊島南 1-12-9	TEL 072-763-3071
司コンクリート (株)	〒 563-0043	池田市神田 2-19-17	TEL 072-752-0906
とどろみ鉱業 (株) 本社工場	〒 563-0252	箕面市下止々呂美 672-1	TEL 072-739-2900
豊中レミコン (株) 本社工場	〒 561-0891	豊中市走井 2-11-10	TEL 06-6853-0661
ナニワ生コン (株) 尼崎工場	〒 661-0982	尼崎市食満 2-24-15	TEL 06-4960-2388
宮本生コン (株) 本社工場	〒 561-0846	豊中市利倉東 1-16-1	TEL 06-6863-2531
ムラタ生コン (株)	〒 562-0044	箕面市半町 3-14	TEL 072-722-5358
(有) ミトミ建材センター	〒 661-0026	尼崎市水堂町 4-5-30	TEL 06-6436-3081
(有) 武庫川生コン 本社工場	〒 662-0934	西宮市西宮浜 2-34-5	TEL 0798-35-6058
(有) 明伸コンクリート	〒 663-8142	西宮市鳴尾浜 1-6-2	TEL 0798-44-3930

南ブロック			
和泉生コンクリート(株) 本社工場	〒 598-0048	泉佐野市りんくう往来北 1-15	TEL 072-462-3901
(株) エヌ・エヌ・シー	〒 596-0113	岸和田市河合町 1396-1	TEL 072-447-1340
(株) 国土一	〒 596-0015	岸和田市地藏浜町 11-1	TEL 072-423-5900
(株) 西野建材 本社工場	〒 596-0802	岸和田市西大路町 218-1	TEL 072-443-0891
山洋コンクリート(株)	〒 598-0002	泉佐野市中庄 1070	TEL 072-463-0661
昭和産業(株) 本社工場	〒 598-0034	泉佐野市長滝 3647	TEL 072-466-7007
橋本生コンクリート	〒 598-0071	泉佐野市鶴原 3-12-18	TEL 072-462-1538
(有) イーコン	〒 596-0012	岸和田市新港町 16-1	TEL 072-430-6653
阪南ブロック			
大阪アサノコンクリート(株) 泉北工場	〒 592-0001	高石市高砂 1-11	TEL 072-268-1212
(株) エスシー産業	〒 587-0011	堺市美原区丹上 330-5	TEL 072-363-5569
(株) 戎生コン 第一・第二工場	〒 593-8312	堺市西区草部 1263-1	TEL 072-275-1100
(株) 大宇宙産業	〒 585-0012	南河内郡河南町加納	TEL 0721-93-8451
(株) 岡本生コンクリート	〒 590-0136	堺市南区美木多上 1788-1	TEL 072-296-8000
(株) 関西西部 堺工場	〒 592-8332	堺市西区石津西町 15-2	TEL 072-241-0461
(株) 西井商店堺臨海生コン 本社工場	〒 592-8331	堺市西区築港新町 1-5-1	TEL 072-241-0764
(株) 阪南大阪生コン	〒 599-8102	堺市東区石原町 1-16	TEL 072-254-2041
(株) 北栄産業	〒 594-1112	和泉市三林町 547-1	TEL 0725-56-6330
(株) モトヤマ 眞龍生コン	〒 590-0986	堺市堺区北波止町 42-40	TEL 072-282-1222
旭光コンクリート工業(株)	〒 585-0001	南河内郡河南町東山 725-1	TEL 0721-93-6478
堺レミコン(株) 本社工場	〒 590-0987	堺市堺区築港南町 8	TEL 072-221-3013
新関西菱光(株) 泉北工場	〒 595-0075	泉大津市臨海町 1-46	TEL 0725-21-1136
泉北コンクリート工業(株) 本社工場	〒 592-0001	高砂市高砂 2-8	TEL 072-268-1061
菱木生コン(株)	〒 593-8314	堺市西区太平寺 338	TEL 072-273-7551
富士上新生コン(株)	〒 590-0906	堺市堺区三宝町 9-417-2	TEL 072-223-9911
南大阪大進生コンクリート(株) 本社工場	〒 583-0991	南河内郡太子町春日 357	TEL 0721-98-2727
美和生コンクリート(株)	〒 587-0022	堺市美原区平尾 2365-1	TEL 072-361-6960
(有) コーシンコーポレーション 山政生コン	〒 587-0022	堺市美原区平尾 2365-1	TEL 072-369-7282
北摂ブロック			
猪名川菱光(株)	〒 666-0252	川辺郡猪名川町広根字神子ノ辻 7-1	TEL 072-766-0270
(株) 協栄建設	〒 666-0252	川辺郡猪名川町広根字神子ノ辻 14-4	TEL 072-766-0606
神戸ブロック			
伊万里建材(株)	〒 651-2126	神戸市西区玉津町上池 255-1	TEL 078-911-6463
SSK ロイヤル(株)	〒 651-2223	神戸市西区押部谷町木見 812-3	TEL 078-994-6000
(株) 上田組生コン事業部	〒 651-2257	神戸市西区平野町中津 932	TEL 078-928-6630
(株) 関西西部 神戸工場	〒 658-0024	神戸市東灘区魚崎浜町 41-1	TEL 078-431-3801
(株) 北神戸生コン	〒 651-1101	神戸市北区山田町小部字妙賀 11 番地 3	TEL 078-592-7175
(株) 光栄 神戸工場	〒 651-1243	神戸市北区山田町下谷上字下の勝 13-1	TEL 078-581-1240

神戸ブロック			
(株) 神戸エスアールシー	〒 658-0024	神戸市東灘区魚崎浜町 42	TEL 078-411-3123
(株) サンコー	〒 655-0861	神戸市垂水区下畑 242	TEL 078-751-6437
(株) 泉北ニシイ 兵庫工場	〒 653-0033	神戸市長田区苅藻島町 1-1-31	TEL 078-671-0835
(株) 泰慶	〒 651-2142	神戸市西区玉津町二ツ屋 99-5	TEL 078-917-3440
(株) 溝尾 六甲生コン第2工場	〒 658-0042	神戸市東灘区住吉浜町 6	TEL 078-811-0461
(株) 明神コーポレーション	〒 651-2122	神戸市西区玉津町玉津橋 703 番地の 1	TEL 078-912-8181
(株) ライブコンクリート	〒 651-2312	神戸市西区神出町南 621 番地の 14	TEL 078-965-2890
タイコー (株) 兵庫工場	〒 652-0866	神戸市兵庫区遠矢浜町 2-48	TEL 078-651-2323
千原生コンクリート (株) 神戸工場 II	〒 658-0024	神戸市東灘区魚崎浜町 36-8	TEL 078-436-8110
阪神生コン建材工業 (株) 神戸工場	〒 658-0024	神戸市東灘区魚崎浜町 27-24	TEL 078-413-2200
東神戸大阪生コンクリート (株)	〒 658-0024	神戸市東灘区魚崎浜町 2-1	TEL 078-413-1321
兵協生コンクリート (株)	〒 652-0866	神戸市兵庫区遠矢浜町 2-48	TEL 078-651-1133
兵庫播磨コンクリート (株) 神明工場	〒 651-2143	神戸市西区丸塚 2-3-12	TEL 078-928-3053
播磨ブロック			
稲垣建材産業 (株)	〒 675-1362	小野市久保木町 1835	TEL 0794-63-2759
植田商事 (株) (株) 姫路ユーエヌシー	〒 672-8035	姫路市飾磨区中島 3059-13	TEL 079-235-4157
岡田建材 (株)	〒 675-1102	加古郡稲美町草谷 59-47	TEL 079-495-1788
尾上生コン (株)	〒 675-0025	加古川市尾上町養田 1577	TEL 079-423-0945
片岡生コン (株)	〒 679-3112	神崎郡神河町鍛冶 134-1	TEL 0790-34-0203
(株) ニシハリマ宇部 (株) 姫路ユーエヌシー	〒 672-8035	姫路市飾磨区中島 3059-13	TEL 079-235-4156
(株) 林建材店 生コン部	〒 675-0023	加古川市尾上町池田開拓 1951	TEL 079-423-1432
(株) 播州生コン	〒 675-1203	加古川市八幡町下村 1233-1	TEL 079-438-0357
(株) 兵庫生コン	〒 679-2215	神崎郡福崎町西治 137-1	TEL 0790-22-3748
高砂菱光コンクリート工業 (株)	〒 675-0023	加古川市尾上町池田 2075	TEL 079-423-2033
滝野生コン (株)	〒 679-0221	加東市河高 89	TEL 0795-48-3075
大開産業 (株)	〒 673-0723	三木市加佐字草荷野 1251-1	TEL 0794-63-9090
(株) ヒメコン 旧中西建材	〒 679-2143	姫路市香寺町中仁野 446	TEL 079-232-0499
姫路大阪生コンクリート (株)	〒 672-8035	姫路市飾磨区中島 3059-7	TEL 0729-234-1981
姫路西部生コン (株)	〒 671-1132	姫路市大津区甚兵衛町 4-35-1	TEL 079-230-1600
姫路菱光コンクリート (株)	〒 671-1132	姫路市大津区甚兵衛町 4-35-1	TEL 079-239-5611
兵庫播磨コンクリート (株) 東播工場	〒 676-0072	高砂市伊保港町 2-8-23	TEL 079-447-1534
双葉生コン (株)	〒 675-2312	加西市北条町北条 567	TEL 0790-42-0275
フラワー生コン (株)	〒 675-2231	加西市王子町 597-124	TEL 0790-48-2949
マツバ商事 (株) 高砂生コン	〒 676-0031	高砂市高砂町向島町 1474-25 (事務所 34)	TEL 079-442-3912
(有) 柴田商店 柴田生コン	〒 671-2244	姫路市実法寺字五反田 57-1	TEL 079-266-3666
友善生コンクリート (株)	〒 671-0221	姫路市別所町別所 982	TEL 079-252-8880
友善生コンクリート (株) 広畑工場	〒 671-1123	姫路市広畑区富士町 1	TEL 079-239-2539

淡路ブロック			
淡路生コンクリート工業（株）	〒 656-0473	南あわじ市市小井 440	TEL 0799-42-2271
淡路生コン工業（株）	〒 656-2132	淡路市志筑新島 2-5	TEL 0799-62-0421
（株）北淡建設 北淡路生コン工場	〒 656-1743	淡路市斗ノ内 1407-2	TEL 0799-82-1000
第一生コン（株）本社工場	〒 656-0511	南あわじ市賀集八幡 48	TEL 0799-54-0921
第一生コン（株）津名工場	〒 656-2132	淡路市志筑新島 1-10	TEL 0799-62-3500
兵庫コンクリート（株）	〒 656-0426	南あわじ市榎列大榎列 808-1	TEL 0799-42-2210
北神ブロック			
海山コンクリート（株）神戸工場	〒 651-1312	神戸市北区有野町有野字南尾 3842	TEL 078-982-8613
エスプレイスコンクリート（株）（旧新生コンクリート）	〒 669-1357	三田市東本庄 2250-1	TEL 079-568-1851
（株）三田生コン	〒 673-1234	三木市吉川町福吉 340	TEL 0794-72-1250
北神戸コンクリート（株）	〒 673-1121	三木市吉川町米田 336	TEL 0794-72-1300
サンセイ生コンクリート	〒 651-1412	西宮市山口町下山口 1651-1	TEL 078-904-3691
三田宇部コンクリート（株）	〒 651-1504	神戸市北区道場町平田 1089	TEL 078-951-6931
兵庫西部ブロック			
赤穂生コン（株）	〒 678-0239	赤穂市加里屋 968-5	TEL 0791-43-2266
揖保川生コンクリート（株）	〒 679-4156	たつの市揖保町揖保上 384-3	TEL 0791-67-8121
金海興業 相生コンクリート	〒 678-0072	相生市竜泉町 300-1	TEL 0791-22-3381
（株）岸本組 一宮生コンクリート	〒 671-4131	穴粟市一宮町安積 1400-8	TEL 0790-72-0282
龍野生コンクリート（株）	〒 679-4315	たつの市新宮町井野原 618	TEL 0791-75-0281
田中工業（株）	〒 671-2542	穴粟市山崎町船元 15-1	TEL 0790-62-4116
播磨土建工業（株）	〒 678-1223	赤穂郡上郡町釜島 334-1	TEL 0791-52-0098
船曳土木興業（株）	〒 679-5307	佐用郡佐用町円応寺 494-18	TEL 0790-82-2938
山崎生コン（株）	〒 671-2544	穴粟市山崎町千本屋 135	TEL 0790-62-2777

和歌山県広域生コンクリート協同組合

35工場

和歌山中央地区 / 橋本・伊都地区 / 有田・日高地区 / 紀南地区

代表理事 丸山 克也

〒 642-0031

和歌山県海南市築地 6 番地 17

TEL 073-483-1313 / FAX 073-483-0013

和歌山中央地区			
株式会社上山商店	〒 641-0014	和歌山県和歌山市毛見 1436 番地	TEL 073-445-5111
有限会社紀州生コン	〒 640-0342	和歌山県和歌山市松原 394 番地	TEL 073-479-0740
株式会社酒直レミコン	〒 640-8404	和歌山県和歌山市湊 1334 番地	TEL 073-431-1388
内海生コンクリート株式会社	〒 642-0035	和歌山県海南市冷水 325 番地 22	TEL 073-482-5251
環産業株式会社	〒 640-8137	和歌山県和歌山市吹上 3 丁目 4 番 15 号	TEL 073-423-6246
杉山産業株式会社	〒 640-8404	和歌山県和歌山市湊 1342 番地 4	TEL 073-422-5031
和歌山共同建材株式会社	〒 640-8404	和歌山県和歌山市湊 1850 番地	TEL 073-453-8902

和歌山中央地区			
株式会社大東陽 生コンクリート工場	〒 640-6262	和歌山県和歌山市上三毛 968	TEL 073-477-1171
株式会社大東陽 本社	〒 640-8269	和歌山県和歌山市小松原通1丁目1番地 (大岩ビル5F)	TEL 073-433-2225
紀ノ川大阪生コンクリート株式会社	〒 649-6321	和歌山県和歌山市布施屋 905-2	TEL 073-465-3670
第一生コンクリート株式会社	〒 649-6262	和歌山県和歌山市上三毛 968 番地	TEL 073-477-3222
橋本・伊都地区			
有限会社紀見生コンクリート	〒 648-0091	和歌山県橋本市柱本 234	TEL 0736-36-1070
紀北生コン株式会社	〒 648-0086	和歌山県橋本市神野々 1224-1	TEL 0736-33-1313
南海砂利株式会社	〒 648-0043	和歌山県橋本市学文路 191 番地の 2	TEL 0736-32-0464
有限会社橋本生コン	〒 648-0091	和歌山県橋本市柱本 40-1	TEL 0736-36-7077
有田・日高地区			
有限会社印南生コンクリート	〒 649-1522	和歌山県日高郡印南町古井 188-1	TEL 0738-45-0231
中津産業協同組合 中津生コン	〒 644-1122	和歌山県日高郡日高川町高津尾 1606 番地の 1	TEL 0738-54-0339
日高生コンクリート株式会社	〒 644-0025	和歌山県御坊市塩屋町北塩屋 676 番地	TEL 0738-22-1286
株式会社山久 由良生コンクリート工業所	〒 649-1104	和歌山県日高郡由良町江ノ駒 448-6	TEL 0738-65-1133
株式会社セイシン・レミコン 工場	〒 649-1221	和歌山県日高郡日高町大字志賀字岩戸 4339-1	TEL 0738-65-1777
株式会社セイシン・レミコン 本社	〒 649-1111	和歌山県日高郡由良町里 376 番地の 10	TEL 0738-65-3534
美山生コンクリート株式会社	〒 644-1201	和歌山県日高郡日高川町川原河 472 番地	TEL 0738-56-0345
株式会社セイシン・マテリアル 工場	〒 644-0003	和歌山県御坊市島外川原 1093 番地	TEL 0738-23-2511
株式会社セイシン・マテリアル 本社	〒 644-0011	和歌山県御坊市湯川町財部字東新田 1057 番 2	TEL 0738-23-1281
湯浅生コン株式会社	〒 643-0004	和歌山県有田郡湯浅町湯浅 2977	TEL 0737-63-1141
スカイコンクリート	〒 643-0614	和歌山県伊都郡かつらぎ町花園新子 256-2	TEL 0737-26-0154
紀南地区			
株式会社清本組	〒 649-2105	和歌山県西牟婁郡上富田町 2053	TEL 0739-47-1241
株式会社下野商店	〒 646-0057	和歌山県田辺市中芳養 719-1	TEL 0739-24-1331
田辺小野田レミコン株式会社	〒 646-0059	和歌山県田辺市古尾 19 番 1 号	TEL 0739-22-1090
田辺生コンクリート工業株式会社	〒 643-0032	和歌山県有田郡有田川町天満 15-5	TEL 0737-52-4370
紀伊生コン株式会社	〒 644-0004	和歌山県御坊市名屋 3 丁目 9-6	TEL 0738-22-0863
ワシン建設株式会社	〒 646-0061	和歌山県田辺市上の山 1 丁目 3 番 2 号	TEL 0739-24-2678
株式会社宮脇組	〒 646-1101	和歌山県田辺市鮎川 609-5	TEL 0739-48-0059
有限会社きのくに生コン	〒 646-0216	和歌山県田辺市下三栖 1475-105	TEL 0739-25-9303
南紀田辺生コン有限責任事業組合	〒 646-0216	和歌山県田辺市下三栖 1475-105	TEL 0739-25-9303
南部生コン工業株式会社	〒 645-0011	和歌山県日高郡みなべ町気佐藤 657 番地	TEL 0739-72-4314
有限会社西村砂利	〒 645-0011	和歌山県日高郡みなべ町気佐藤 657 番地	TEL 0739-72-3681
日置川開発株式会社	〒 649-2511	和歌山県西牟婁郡白浜町日置 525 番地	TEL 0739-52-2015

Information

yui 掲示板

Sep.

ファミリーフェス2018

日時：平成30年9月9日（日）10時30分開場予定

場所：インテックス大阪4号館

第18回 建交労関西支部ゴルフコンペ

日時：平成30年9月22日（土）

場所：六甲カントリー倶楽部

主催：全日本建設交通一般労働組合 関西支部

Nov.

KURS安全対策講習会

日時：平成30年11月23日（祝）

※場所と時間につきましては決まり次第、本誌にてお知らせいたします。

編集後記

KURS(コース)として出帆！

【KURS(コース)趣旨説明】

私たち近畿生コン関連協議会は、2018年1月24日に発足して以来、関西の生コン業界に携わる関係者と、手と手を取り合い、様々な新しい取り組みに挑戦し、それが本誌「結」の発刊をはじめ、素晴らしい成果として表れています。

そのうえで、今後とも関西の生コン業界のみならず、社会全体に、また広くは世界に、この業界の魅力を発信していくという思いで、このたび近畿生コン関連協議会の名称を英語表記し、Kinki union council of ready-mixed concrete staff、略称KURS(コース)とすることにしました。

KURSは奇しくもドイツ語の名詞KURSと同じであり、日本でも一般に使われる方針・針路・方向・航路などを意味するコースと、新しい魅力ある業界づくりの舵取りを担う私たちの決意と一致します。

さらにKURSは、近畿生コン関連協議会に所属する4つの労働組合の略称の頭文字、K(建交労)U(UA)R(レディーミクス)S(産労)でもあります。

私たちの思いを表す名称に出会えたことは、4労組と大阪広域協組をはじめ多くの業界関係者が業界発展のため協力し合うという、これまで考えられなかったことが実現した、奇跡のような出来事的一端と感じずにはられません。

日本古来、「桜梅桃李(おうばいとうり)」という素晴らしい言葉がありますが、それぞれの花がそれぞれの特性を発揮し、それぞれの時期に見事な花を咲かせ、素晴らしい実を付ける。

KURSに所属する4労組は、それぞれの結成経緯も、主義主張も、運動の仕方も全てが違うかもしれませんが、しかしお互いがお互いを尊重し合い、それぞれの特性を活かし、力を出し合えば、必ず大きな成果として結実するに違いありません。

今後とも、KURSとしての取組に対し、関係各位のご協力、ご指導、ご鞭撻をお願いいたします。

KURS // **Kinki Union council of Ready-mixed concrete Staff**

「結」Vol.2 2018年

2018年7月31日

発行・発行所 **KURS** // Kinki Union council of Ready-mixed concrete Staff

〒532-0011 大阪市淀川区西中島7-12-9

発行人 岡元 貞道

編集 「結」編集委員会

生きる コンクリート

安心できる暮らしと社会と未来のために…



 大阪広域生コンクリート協同組合

<https://www.osaka-kouiki.or.jp/>

  @osakakouikinama